

事務事業名		育児支援事業			☐ 実施計画登載事業 ☐ 合併建設計画登載事業																								
政策体系	政策名	04 安心が確保されたまちづくりの推進			事業期間	予算科目 会計 款 項 目 事業 01 04 01 01 26																							
	施策名	15 子育て支援の推進																											
	基本事業名	01 子どもの心身の健やかな成長支援																											
根拠法令					☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 平成9 年度～) ☐ 期間限定複数年度 (計画期間) 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入																								
所属	部課名	生活福祉部国保年金課(保健介護センター)																											
	係名	保健指導係	電話内線	0192-27-1581 437																									
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) のびっこ教室 乳幼児が心身ともに健やかに育つことを目的に、発育・発達相談や育児不安を持つ母親に対して気軽に相談できる場を確保し、のびのびと子育てができるように支援する。相談の場の提供を行い、母子ともに楽しく参加できるように配慮している。身体計測は参加者全員に行なっていたが、計測目的の参加が非常に多く、本来の目的である相談事業に支障をきたしたため、年度途中から対象者を限定して実施。 毎月1回開催。午前9時30分～10時30分受付。 主な業務は、開催日程の計画、広報への掲載依頼、育児相談員への協力依頼、会場準備、育児相談、育児相談員とのカンファレンス、育児相談員へ謝金の支払事務。 事業費は、育児相談員謝金、折り紙・画用紙等消耗品費。																													
全体計画(※期間限定複数年度のみ) <table border="1"> <tr> <td rowspan="6">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="5">事業費 財源内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>149,000</td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>149,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td>282</td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>1,128</td> </tr> <tr> <td colspan="2">トータルコスト(A)+(B)</td> <td>150,128</td> </tr> </table>						総投入量 (千円)	事業費 財源内訳	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源	149,000	事業費計(A)	149,000	人件費	正規職員従事人数	7	延べ業務時間	282	人件費計(B)	1,128	トータルコスト(A)+(B)		150,128
総投入量 (千円)	事業費 財源内訳	国庫支出金																											
		都道府県支出金																											
		地方債																											
		その他																											
		一般財源	149,000																										
	事業費計(A)	149,000																											
人件費	正規職員従事人数	7																											
	延べ業務時間	282																											
	人件費計(B)	1,128																											
トータルコスト(A)+(B)		150,128																											

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標									
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) のびっこ教室:月1回開催。平均20組の親子が参加。計測、育児相談、栄養指導、言語相談、手遊び、絵本の読み聞かせ、自由遊び。 今年度計画(今年度に計画している主な活動) のびっこ教室:社会福祉協議会で実施しているつどいの広場と合同開催。(月1回)内容に関しては前年度同様。	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア のびっこ教室の開催回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	ア のびっこ教室の開催回数	回	イ		ウ	
	名称	単位							
	ア のびっこ教室の開催回数	回							
	イ								
ウ									
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 のびっこ教室:発達、育児に関する相談を希望する乳幼児とその保護者。健康診査の結果、経過観察が必要な乳幼児とその保護者。	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>カ のびっこ教室の延べ相談乳幼児数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	カ のびっこ教室の延べ相談乳幼児数	人	キ		ク	
	名称	単位							
	カ のびっこ教室の延べ相談乳幼児数	人							
キ									
ク									
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 相談することで、発育・発達や育児不安を軽減し、のびのびとした子育てができる。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>サ 参加者の満足度(アンケート)</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>シ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	サ 参加者の満足度(アンケート)	%	シ		ス	
	名称	単位							
	サ 参加者の満足度(アンケート)	%							
シ									
ス									
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 子育てに関する不安や悩みを軽減・解消してもらう。									

(2) 総事業費・指標等の推移			年度	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (目標)	22年度 (目標)	
投入量	事業費	財源内訳	単位	千 円						
			国庫支出金	千 円						
			都道府県支出金	千 円						
			地方債	千 円						
			その他	千 円						
	人件費	一般財源	千 円	176	135	159	148	149	149	
		事業費計 (A)	千 円	176	135	159	148	149	149	
		正規職員従事人数	人	1	5	6	7	7	7	
		延べ業務時間	時 間	130	283	300	282	300	300	
		人件費計 (B)	千 円	520	1,132	1,200	1,128	1,200	1,200	
トータルコスト(A)+(B)			千 円	696	1,267	1,359	1,276	1,349	1,349	
⑤活動指標		ア	回	12	12	12	12	12	12	
		イ								
		ウ								
⑥対象指標		カ	人	300	210	250	149	300	300	
		キ								
		ク								
⑦成果指標		サ	%	100	100	92.3	100	100	100	
		シ								
		ス								

事務事業ID	0289	事務事業名	育児支援事業
--------	------	-------	--------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

平成9年に県から母子保健事業が委譲されたことをきっかけに、健診等で経過観察が必要とされた乳幼児とその親を対象として開始された。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

社会状況としては、少子化・核家族化が進み、子どもを持つ親同士の交流の場がなくなっている。そのため、親子ともに孤立化し、閉じこもり状態になっている。また、虐待の問題も増加の傾向にあり、母子保健事業の充実、子育て支援の強化が求められている。地域子育て支援センターのおひさま広場や子育てサポーターズマイル等の活動が定着してきているが、保健師・栄養士等による相談も行っているのは、本事業のみである。身体計測の対象者を限定したことにより参加者数が減少し、年齢層に変化がみられた。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

良い点として、育児相談の機会が毎月確保されていること、友達をつくる機会となっていることなどが挙げられている。要望としては、回数を増やしてほしいこと、絵本の読み聞かせをしてほしいことが挙げられている。

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由] → ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒ [理由] → この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由] → ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒ [理由] → なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由] → ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒ [理由] → 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒ [理由] → ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない ⇒ [理由] → 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒ [理由] → ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒ [その内容] → 定期的な経過観察や育児相談の場なくなる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある → (具体的な手段, 事務事業) ☒ 統廃合・連携ができる ⇒ [理由] → ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒ [理由] → 社会福祉協議会で行なっているつどいの広場の参加者にとびっこ教室の参加者が重複している。のびっこ教室新規参加者はつどいの広場からの紹介が多く、つどいの広場で月1回相談事業として行なうことが可能。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☒ 削減余地がある ⇒ [理由] → ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 削減余地がない ⇒ [理由] → 育児相談員として、元小学校教諭・保育士・保健師が従事している。保育士による紙芝居や手遊び等は好評で今後も継続したいが、つどいの広場と合同開催にしたことにより、つどいの広場スタッフ(2名)も加わっており、のびっこ教室参加者数の減少に伴い、スタッフ数が多いと感じるときもある。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒ [理由] → ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒ [理由] → 育児不安を軽減・解消するため個別相談の充実が必要であり、現在の人員以下での対応は、待ち時間の延長につながる。また、教室での母子関係を観察することもその後の支援につなげる重要な役目である。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由] → ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒ [理由] → 母子保健法に基づき実施しており、受益者負担は適正ではない。

事務事業ID	0289	事務事業名	育児支援事業
--------	------	-------	--------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	③ 効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 身体計測に制限を設けたため、のびっこ教室の参加者が激減した。のびっこ教室参加者は、つどいの広場にも参加したことがある人が多く、合同開催したことにより、つどいの広場内での様子もきくことができる点はよかった。地域子育て支援センターやつどいの広場等、子育てを支援する活動が盛んになってきていることから、今後、市として相談事業を継続するべきか検討が必要。									
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																					
③ 効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																					
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 他の子育てサークルの活動状況を把握し、本事業の参加者の利用も含め連携していく。つどいの広場の参加者とのびっこ教室の参加者が重複しているため、のびっこ教室を廃止し、つどいの広場相談事業として保健師や栄養士が月1回相談に応じるという方法も検討していく必要がある。また、有資格者である育児相談員を今後どう活用するかという点での検討も必要。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	●		×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持	●		×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 育児支援事業として唯一の本事業をつどいの広場と統合した場合、現在より相談機能の質を落とさない配慮が必要。より、つどいの広場スタッフとの連携が重要になる。																							

4 事務事業の2次評価結果

(職名) ※原則として施策の主管課長	(氏名)
2次評価者	国保年金課長

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

- ① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)
- ☐ 記述不足でわかりにくい
☐ 一部記述不足のところがある
☒ 記述は十分なされている
- ② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)
- ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない)
☐ 一部に客観性を欠いたところがある
☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果 <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	③ 効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(3) 評価結果の根拠と理由 事業目的は理にかなっているが、実施内容・方法等再検討の余地がある。
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり												
② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり												
③ 効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり												
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり												

(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☒ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 類似事業との統合を考慮しつつ、事業は継続する。		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	●		×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持	●		×																			
	低下		×	×																			

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
